

# YES, WE CAN!

## 平和学習 Part 1



- 小学校の時から原子爆弾が落ちて被害がすごかったと知っていました。でも、前見た映像で、私と同じ年齢の人もたくさん被爆し、苦しい思いをしたと知りました。映像の話の内容がとても怖くて「どうして爆弾を落としたんだ」と言いたくなりました。その当時は、落とされた前例がもちろんなく、知識が何も無いのに被爆して、すごく大変だったのだらうなと思いました。今、2回落とされて被害がわかっているからこそ、もう2度と起こってはならないと思いました。(1組 女子)
- 原爆の被害は大きいのは知っていたので、原子爆弾は20mくらいあるのかなと思っていたけど、たった3mだということに驚きました。たった3mで15万人の死傷者を出していると思ったら、本当に恐怖です。今、世界で1万発もの原爆があり、その被害の大きさは何百倍と知ると、今の時代はめちゃくちゃ平和なんだと知りました。一生この時代が続いてほしいです。(1組 女子)
- みんながけんかしないように、平和に暮らさないといけないと思いました。原子爆弾のエネルギーを利用して電気を作ったり、他のことにも役立てられたらいいと思いました。(1組 男子)
- 戦争をもう2度としないでほしいし、してほしくないと思いましたが。もし、私が原子爆弾を落とされたところに生まれていて、何も知らずに学校生活を送っていたら、きっと生きていることは不可能だと思います。みんなで仲良く生活できる未来が来ると良いと思います。(1組 女子)
- この授業を受けるまでは、北朝鮮だけが原子爆弾を持っていると思っていたけど、アメリカやロシアは5000以上の爆弾を持っていると分かって驚きました。映像を見て、爆弾の恐ろしさや被爆の規模の大きさなど、詳しく原子爆弾のことを知ることができて、いい経験になりました。原子爆弾が撃たれないことを願っています。(1組 女子)
- 日本に原子爆弾が落ちたことは知っていたけど、どんなものが落ちて、何人亡くなったのか、日本がどうなったのか知らなかったの、知ってびっくりしました。想像以上の人数の方が亡くなっていて、町も人もひどい姿になっていて、全然関係のないことだとは絶対に言えないと思いました。自分は生まれていなかったけど、ちゃんと知って忘れないようにしたいです。(1組 女子)

「平和の原点は人の痛みがわかる心を持つこと」「知らないことは罪」「過去に目をつぶるものは未来に対して盲目」「平和な時代に生まれて戦争を知らないのは当たり前と思っているかもしれないけれどそれは間違い。I don't know. は許せない。」(長崎 下平作江さん 被爆者講話より)

- 当時は“戦争に賛成”と言う人がほとんどだったということを少し前に知って、「なぜ賛成するんだろう」と思っています。現在は、戦争を起こさないと日本は発言しているし、爆弾も持ってはいけないことになっているので、平和だけど、**多分この戦争の経験がなかったら、まだやっていた**と思います。毎日を大切に生きていこうと思います。(2組 女子)
- 金曜日の映像や、今日の話で、いつもの日常にありがたみを感じました。原爆の被害の映像とか、写真を見ていくと、本当に戦争の恐ろしさとか、被害を受けた人々の気持ちが感じられて、怖くなったし、悲しくなりました。永井さんも短い時間の中で、たくさんの言葉や本を残していて、すごいなと思ったり、**その言葉や行動は大勢の人の心を助けたんだ**と思います。亡くなった人の分まで1日1日を大切に生きていきたいです。(2組 女子)
- 今、私たちは平和に生きていられるけど、昔はこんな一生障がいが残るような被ばくを受けて、とても怖いと思いました。永井さんは、病気ををもともと持っていて、それでも生き残って残り少ない**命をみんなのために使っていてすごい**と思いました。寝たきりの状態になっても、何かできないかと本を書いていて、すごい人だと思いました。放射線にはとても怖い副作用があって、前に見た、つめが剥がれたり、髪の毛が抜けてしまったり、今はそんな怖いことはないけど、**昔そのようなことがあった**ということをお頭に覚えておきたいです。(2組 女子)
- 今日、映像や説明を聞いて、今の日本は食べ物など探さなくても食べることができて、平和に衣食住ができていけど、戦争を経験している方々は、生活するだけでも苦労しているんだなと思いました。今は簡単に、相手に言うてはいけないことを遊びで言っている人もいけど、戦時中は現代よりも、**生きたくても生きられない人がたくさんいた**と思うので、改めて平和に生きていることに感謝して過ごしていきたいと思いました。(2組 女子)
- 服などの遺物を残してこの世を去った姿を見ると、**生きたかった命の分まで生きてほしいと私たちに言っている**ように感じました。食べる間もなく国のために働いて亡くなってしまって、残った弁当を見ると、これまで以上に感謝して食べないといけないと思いました。被爆者のお話を聞いて、心を痛めたし、その何倍も悲しい思いをしている人がいると思うと怖いです。亡くなった人数や原爆の大きさを数字で見るとゾッとしました。今も放射線と闘っている人がいてすごいです。この永井さんは、ただでさえ身体が弱っていて、大きな被害もあって、妻を亡くしてつらいのに、子どもを育て、たくさんの人を助けてすごくかっこいいなと思いました。



(2組 女子)

(3, 4 組は次号に) To be continued・・・

**お知らせ** 2月22日(火)に神戸校外学習を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、3月9日(木)に延期いたします。2月22日(火)はお弁当が必要になります。お忙しい中ですが、どうぞよろしくお願いいたします。